

特定の着信を拒否する

指定した電話番号や、発信者番号が通知されない相手(非通知、公衆電話、通知不可能の相手)、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定することができます。

- 1 メインメニューを表示→[機能/設定]→[プライバシー/制限]→[着信拒否]
→ロックNo.を入力
- 2 各項目を設定

	指定した電話番号からの着信を受けないように設定(最大20件) ① [☒] (番号リスト)→[新規登録]→[直接入力]→電話番号を入力→[☒] (完了)→設定した電話番号から着信したときの動作を選択 ● [アドレス帳引用]/[履歴引用]/[メモ帳引用]/[プロフィール引用]を選択すると、本体に登録されている情報を引用して電話番号を設定することができます。 ● 拒否番号リストに登録した電話から電話がかかってきても、相手が電話番号を非通知にしてきた場合は、[非通知]の設定に従って動作します。 ● お留守番サービスまたは着信転送サービスの無応答転送を設定している場合、[無応答切断]に設定してもお留守番サービスまたは着信転送サービスに転送されます。
指定番号	
非通知	発信者番号の通知がない着信を受けないように設定
公衆電話	公衆電話からの着信を受けないように設定
通知不可能	発信者番号の通知ができない相手からの着信を受けないように設定
アドレス帳登録外	発信者番号の通知があり、アドレス帳に登録していない相手からの着信を受けないように設定
着信履歴保存	着信を拒否したときの履歴を保存する/しないを設定

■着信拒否の応答メッセージ一覧

着信拒否を設定すると、以下の応答メッセージが流れ着信が拒否されます。応答メッセージが流れている間はかけてきた相手に通話料がかかります。

拒否メッセージ1	「この電話番号からの電話はお受けできません」
拒否メッセージ2	「まことに申し訳ありませんがただいま都合により電話をお受けすることができません」
公衆電話メッセージ	「公衆電話からの電話はお受けできません」
非通知用メッセージ	「発信者番号通知がされていません。電話番号の頭に186を付けておかけ直してください」
無応答切断	着信時、手で拒否操作を行った場合(48ページ)と同様の動作となり、かけてきた相手に接続できなかったことがアナウンスされます。
留守メモ録音	簡易留守メモの応答メッセージが流れ自動応答します。

お知らせ ●着信拒否は割込通話サービスには対応していないため、通話中に電話がかかってくると、通常の着信動作になります。●着信拒否と簡易留守メモを同時に設定している場合は、着信拒否が優先されます。

ロックNo.を変更する

機能の設定を行うときやロックを解除するときなどに使用するロックNo.(4～8桁)を変更します。

- 1 メインメニューを表示→[機能/設定]→[プライバシー/制限]→[ロックNo.変更]
- 2 ロックNo.を入力→新しいロックNo.を入力→[はい]
●お買い上げ時は「1234」に設定されています。